

# 再生から創生へ 次世代へ残す輝く郷づくり

町民の皆様、あけましておめでとうございます。

日ごろから町政全般に対する温かいご理解と絶大なるご協力に厚くお礼申し上げます。

県下はもとより本町にも未曾有の被害をもたらしました熊本地震および記録的豪雨からおよそ2年半が経つと、震災の傷跡は大きなものとなりました。昨年は記録的な猛暑が続く中で、西日本豪雨や大型台風、北海道胆振地震など全国各地で大きな災害が発生し、震災により被災した地域の1人としても一刻も早い復旧・復興を願い、お見舞い申し上げます。

震災以降、町民の皆様が安全・安心に暮らす環境を復旧・復興することを目指して、町として迅速に業務を進めてまいりました。

今年度は、復興のシンボルの1つである災害公営住宅が白旗団地（10戸）、乙女団地（12戸）、甲佐団地（30戸）の全てが完成します。甲佐団地と一体として住

まいの復興拠点づくりを進める子育て支援住宅（20戸）の建築も進んでおり、今夏には完成します。災害復旧工事が進んでいる田口橋も夏に完成を予定しており、復旧後には幅員が4.5mから7.0mに拡張されて安全に通行できる2車線となります。また緑川左岸の安津橋周辺に計画しています総合運動公園は、施設の1つであるサッカー場2面の整備に既に着手し、秋以降に天然芝コートと人工芝コートが完成して、今後はテニス場や野球場、ソフトボール場などを整備します。そのほか、今後も被災者の皆様の生活再建を優先課題と捉えて、総力を挙げて迅速かつ強力に震災対策を講じていくこととしています。

そういった中、今年度は町政運営3期目の最終年を迎えるわけであり、

これまでの震災対策は、私が政策目標として「町長マニフェスト」で掲げた「再生から創生へ・次世代へ残す輝く郷づくり」を正に基本とし、単なる復旧にはとどまらず、将来を見据えて更なる本

町の発展を目指した「創造的復興」を同時に講じていくことが重要と考え、3期目の総仕上げを目指してまいります。また早期の復旧・復興を加速化するために、まちづくりの基本である「第6次町総合計画」や「町震災復興計画」などを町民の皆様と共有し、協働によるまちづくりを推進します。

今後も、創生を見据えた復興により「甲佐町に住んで良かった」という誇りと愛着を持っていただけるまちづくりに向かつて、町民と行政が震災などでの苦

難を共に乗り越え培われてきた絆と町外の多くの方から頂いた支援に感謝しつつ、町民の皆様から寄せられた大きな期待に応えるために町職員と一丸となり、共に汗を流して強い信念とあふれる情熱で真摯に実現してまいります。

終わりに、町民の皆様、また議会の皆様には、本年も変わらぬご指導とご支援の程をよろしくお願い申し上げますとともに、町民の皆様にとりまして輝かしい1年となることを祈念申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。



甲佐町長 奥名 克美

# 安心して暮らせる 住まいを一日も早く

甲佐町議会 議長

緒方 哲哉

町民の皆様、明けましておめでとうございませう。  
平成最後の年を迎え、甲佐町議会を代表し、謹んでご挨拶を申し上げます。  
町民の皆様におかれましては、新たな希望をもって、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素から町議会に対しまして温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。  
平成28年に発生した熊本地震並びに豪雨災害から約2年9カ月が経ちました。  
未だ、生活再建の見通しが立たない方々も多くいらっしゃいます。このような状況の中、災害公営住宅も乙女団地並びに白旗団地の22戸については、2月中旬までに入居できる見通しであり、また甲佐団地の30戸については4月下旬までの入居予定となっております。

今後も厳しい状況が続くとは思いますが町民の皆様が1日でも早く、安全で安心して暮らせるよう、議会といたしましても町民の視点に立ち、町執行部とともに一丸となって復旧、復興により一層取り組んでまいりますので、ご協力の程どうぞよろしくお願い申し上げます。  
本町の基幹産業である農業などの産業の振興や子育て世代への政策、甲佐の魅力を活かした定住政策などの取り組みをより一層進めていかなければなりません。  
本年2月には、任期満了に伴う町議会議員選挙が予定されており、町民の皆様への負託を受けた新しい議員による甲佐町議会が形成されますが、今後とも、ご指導並びにご支援をよろしくお願いいたします。  
町民の皆様にとりまして、実り多き年であり、ご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。



# 文化の薫り高い 学びのまちづくり

甲佐町教育長

蔵田 勇治

明けまして、おめでとうございませう。  
謹んで新春のご挨拶を申し上げます。日頃から学校教育、社会教育、体育・スポーツ活動、芸術文化の振興並びに文化財保護等、本町教育行政に温かいご理解とご支援、ご協力を頂いておりますことに衷心より感謝申し上げます。また、熊本地震・豪雨災害から三度目の新春にあたり、被災された皆様の一刻も早い生活の再建と心の安らぎが訪れますことをお祈りいたします。  
ところで、今上天皇の御退位を控えて様々な場面で「平成最後の・・・」という言葉が聞かれ、時代が変化していくことを実感する今日この頃です。我が国は東京オリンピック・パラリンピックの年を

大きな節目として、スポーツ界ばかりでなく、政治、経済、文化など様々な分野で変化し大きく発展していくことが期待されます。また、教育界に目を向けると、選挙権は既に十八歳から引き下げられていますが、民法改正により2022年から成人年齢も十八歳に引き下げられることから、高校卒業までの主権者教育の充実も急務です。このほか、高い道徳性を育む道徳教育の充実、英語教育などグローバル化に対応できるコミュニケーション能力を育むことなど、教育課題は山積しています。甲佐町の学校教育は、未来社会を力強く生き抜く力を全ての子どもに育んでいかねばなりません。また、社会教育においても「文教の町・甲佐」にふさわしい文化の薫り高い学びの町づくりを志回しています。  
今後とも、町民の皆様との協働による地域教育作りに、深いご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

